

教育委員会会議録（５月定例会）

日 時

令和８年５月２８日（木）
午後２時３０分から午後２時５６分まで

場 所

日立市役所 ３０４・３０５号会議室

出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	小野 智久
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	額賀 隆

委員以外の出席者

教育部長	作山 直弘
次長	大内 弓子
次長（施設担当）	鈴木 清志
理事	窪田 康德
総務課長	西 勇人
学校施設課長	富岡 道雄
学務課長	正木 啓道
学校再編課長	酒地 康彦
生涯学習課長	澤井 博
スポーツ振興課長	市原 慎也
スポーツ振興課課長	下田 恭子
指導課長	青木 房子
記念図書館長	野口 要一
郷土博物館長	園原 淳
北部学校給食共同調理場長	小林 健児
教育研究所長	久保田将彦
総務課課長補佐（兼）庶務係長	塙 智光
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	西野 晃平
総務課主幹	丸山奈々子

議 事

報 告

報告第 5 号 教育委員会 4 月定例会の会議録について

議 案

議案第 1 7 号 令和 8 年度教育委員会 6 月補正予算の提案について

議案第 1 8 号 日立市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について

議案第 1 9 号 日立市視聴覚センター運営委員会委員の委嘱について

その他

- (1) 令和 8 年度小・中学校等の児童・生徒数について
- (2) 令和 8 年度公設児童クラブの児童数について
- (3) 令和 8 年度夏季教職員研修について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 ただ今から、教育委員会 5 月定例会を開会します。

本日は、傍聴者はありません。

2 報 告

報 告 第 5 号 教育委員会 4 月定例会の会議録について

教 育 長 まず、報告第 5 号について、御意見等はございませんか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 議 案

議 案 第 1 7 号 令和 8 年度教育委員会 6 月補正予算の提案について

教 育 長 続いて、議事に移ります。
議案第 1 7 号について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 1 番、歳入歳出予算です。
歳入については、5 3 4 万 9 千円を増額し、補正後の額を 2 0 億 2, 5 5 0 万 7 千円とするものです。
次に、歳出については、1, 8 1 2 万 3 千円を増額し、補正後の額を 7 7 億 1, 5 6 8 万 8 千円とするものです。
次に、内訳です。

1 番、歳入歳出予算、N o. 1 及び N o. 2 は、当初予算に、経済的に困窮する世帯に対する就学援助費を計上しておりますが、このうち部活動の地域展開に係る部分を対象として、国の新たな補助制度が設けられたことを受け、歳入を計上するものです。

N o. 1 はスポーツ、N o. 2 は文科系のクラブに参加する場合の就学援助費に対し補助が入るもので、補助率はどちらも 2 分の 1 でございます。

N o. 3、学校安全総合支援事業費は、県の委託事業であり、地震、津波、風水害などの複合災害を想定した実践的な防災教育の実施と地域連携体制の構築を図るものです。

受託した市町村が拠点校を指定し、拠点校を中心に取組を推進することとなっており、本市は松風中学校を拠点校とし、地域内の学校である久慈小学校、坂本東小学校と連携して、この事業を行います。

す。

補正額 110 万円は、アドバイザーを始め出席者への謝礼金、避難訓練や防災体験活動に使用する消耗品費、備品購入費などであり、No. 4 にございますように、関連歳入として県からの同額の委託金を計上いたします。

No. 5 及び No. 6 は、共に運動公園野球場再整備事業に係る歳入であり、No. 5 は国の内示に伴う国庫補助金の減額、No. 6 はそれに伴い財源の整理を行うものです。

No. 7 及び No. 11 に、同じ事業名で中学生スポーツ・文化活動推進事業費がございます。

部活動の地域展開に伴う国、県の新たな補助事業であり、地域クラブが活動時間や参加費、指導体制など、市が定める要件を満たす場合に、これを市が認定し、活動に要する経費について、補助金を交付するものでございます。

No. 7 はスポーツの、No. 11 は文科系のクラブへの補助であり、補助の対象となるのは、指導者への謝金、事務局の人件費のほか旅費、消耗品費などです。

No. 8 と No. 12 は関連歳入であり、どちらも補助率は、国 3 分の 1、県 3 分の 1 でございます。

No. 9 と No. 10 は、当初予算に計上した、部活動の地域展開に係る日立市スポーツ協会へのコーディネート業務などの委託料、市民科学文化財団へのミュージッククラブの運営業務委託料や、ミュージッククラブの立ち上げに必要な費用の補助について、国庫補助金が増額となったものです。

続きまして、2 番、地方債補正（変更）です。

運動公園野球場再整備事業費は、国庫補助金の減額に伴い、財源の整理を行うものです。

委員長 運動公園野球場再整備事業費に差額が発生した理由について、総括していただきたいです。

なお、今後、このような事例が日立特別支援学校校舎改築事業でも起こった場合に、どのように財源を確保するのか伺いたいです。

スポーツ振興課長 野球場の整備に当たり、国、県と協議し、令和 2 年度に創設された、国庫補助金を活用しました。

当初の交付率は高かったのですが、全国的に要望が高まり、県内でも多くの事業が手を挙げたことから、交付率が低くなりました。

本市でも、当初予定していた交付率から下がってしまい、差額が生じました。

また、採択に当たり市の別の事業にウエイトが置かれ、野球場整備への割り当てが減額となっていることも理由の 1 つとなっております。

事業ごとの補助となっており、割り当てを自由に配分することができないため、減額分については、公共事業等債、地方債で賄うことにより、一般財源からの支出を最小限にとどめております。

学校施設課長 日立特別支援学校校舎改築事業の財源確保につきましても、国からの補助金や地方債などで事業を進めることとなります。

国からの補助金が要望額に対して内示額が低くなった場合には、地方債などの割合を増やすことになります。

教 育 長 それでは、議案第 17 号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第 17 号については、原案可決と決しました。

議 案 第 18 号 日立市教育支援委員会委員の委嘱及び任命について

教 育 長 次に、議案第 18 号について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長 日立市教育支援委員会委員は、令和 8 年 5 月 31 日をもって任期満了となるので、新たに委員を委嘱及び任命するものであります。

任期は、令和 8 年 6 月 1 日から令和 9 年 5 月 31 日まででございます。

本委員会は、各小中学校等における校内判定資料に関することや、障害の種類及び程度に応じた教育支援に関することなどについて審査する組織であります。

医師、教育職員、児童福祉施設の職員、学識経験者、市職員の 30 名以内をもって構成するものでございます。

今回新たに委嘱及び任命するのは 6 名です。

なお、現時点で教育職員に 2 名の欠員が生じております。

教育職員の委員は、教育支援委員会の判定資料を作成するなど、当該業務の中核をなすことから、早期に欠員を補充させていただきたいと考えております。

引き続き、特別な教育支援を必要とする幼児、児童生徒に対する早期からの一貫した教育支援の充実を図ってまいります。

教 育 長 それでは、議案第 18 号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第 18 号については、原案可決と決しました。

議 案 第 19 号 日立市視聴覚センター運営委員会委員の委嘱について

教 育 長 次に、議案第 19 号について、記念図書館長から説明をお願いします。

記念図書館長 日立市視聴覚センター運営委員会委員に欠員が生じたので、新たに委員を委嘱するものでございます。

委員の任期は 2 年間でございますが、新たに委嘱する委員の任期は、前任者の残任期間である令和 9 年 8 月 31 日までとなります。

次に、委員名簿でございます。

人事異動などに伴い、11 名の委員のうち、氏名の左側に丸印が記載されている 3 名を新たに委嘱するものです。

まず、高橋 裕子 氏は、塙山小学校長であり、日立教育研究会からの推薦により、学校等代表者の区分で委嘱するものでございます。

次に、鈴木 亨 氏は、公益財団法人日立市民科学文化財団事務局長であり、人事異動により、各種関係団体代表者の区分で委嘱するものでございます。

次に、澤井 博 氏は、教育委員会生涯学習課長であり、人事異動により、関係行政機関職員の区分で委嘱するものでございます。

なお、名簿の下から 3 番目、根田 容子 氏は、同一の選出区分において、令和 8 年度に所属変更による委員継続となります。

教 育 長 それでは、議案第 19 号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第 19 号については、原案可決と決しました。

4 そ の 他

(1) 令和 8 年度小・中学校等の児童・生徒数について

教 育 長 続いて、その他に移ります。
その他(1)について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長 まず、小学校につきましては、令和 8 年 4 月に櫛形小学校と山部小学校が統合して、十王小学校となりましたことから、市内 22 校となっております。

中里小中学校の前期課程を含めた児童数の合計は、5,910 人

で、前年度と比べて269人の減少でございます。

普通学級は221クラスで、11クラスの減少です。

特別支援学級は97クラスで、1クラスの増加となっております。

中学校につきましては、市内12校に中里小中学校の後期課程を含めた生徒数の合計は、3,291人で、前年度と比べて100人の減少でございます。

普通学級は105クラスで、1クラスの増加です。

特別支援学級は49クラスで、3クラスの増加でございます。

日立特別支援学校は、小学部、中学部、高等部の合計児童生徒数が、130人となっており、前年度と比べて5人の減少となっております。

学級数は40クラスで、前年度と同数となっております。

小学校、中学校、中里小中学校、特別支援学校の児童生徒数の合計は、9,331人でございます。

前年度と比べて374人の減少、約3.9%の減少となります。

(2) 令和8年度公設児童クラブの児童数について

教 育 長 次に、その他(2)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 1番、登録児童数でございます。

令和8年5月1日現在の登録児童数は、1年生から6年生までで合計1,410人でございます。

開設教室数につきましては、複数の教室を開設している小学校もございしますので、合計で41クラスでございます。

また、今年度も待機児童数は0人でございます。

次に、2番、登録児童数の推移でございます。

令和4年度から令和8年度までの5年間の登録児童数の推移を表及び図でお示ししております。

折れ線グラフが全児童数、棒グラフが児童クラブの登録児童数です。

全児童数の減少傾向に合わせて、登録児童数も昨年の令和7年度と比較して減少傾向となっております。

今後も学校の協力を得ながら、希望するすべての児童が利用できるように事業を進めてまいります。

委 員 今後、減少傾向が続いていく上で、どのくらいまで減少したら児童クラブを廃止するかなどの計画があればお聞きしたいです。

生涯学習課長 公設児童クラブの登録児童数につきましては、ひたち子どもプラン2025におきましても、令和7年度をピークに減少するものと

見込んでおり、今後は、多少の増減が見られるとしても、基本的には減少傾向で推移するものと思われます。

今後の方針といたしましては、学校の再編や児童数減少の状況を見ながら対応することになりますが、保護者の就労支援という側面もございますので、基本的には、少数でも利用希望の児童がいる場合には、何らかの対応が必要になると思われます。

また、現時点では、何名以下になったら廃止等の具体的な基準はございません。

民間の児童クラブとの連携なども含め、今後の登録児童数の推移を見極めながら方針を検討してまいりたいと考えております。

委 員 学校再編で統合され、廃止となる学校も継続する可能性はありますか。

生涯学習課長 学校再編で統合された場合は、統合先の学校で児童クラブを開設する方向で考えております。

統合した学校の児童数に合わせて、受け入れる人数やクラス数などを検討してまいりたいと考えております。

(3) 令和8年度夏季教職員研修について

教 育 長 次に、その他(3)について、教育研究所長から説明をお願いします。

教育研究所長 本事業は、教育実践上の課題解決や教職員の資質向上のための研修でございます。

教育課題の解決や充実、発展を目指し、教職員の基本的資質を身に付ける研修や、専門的な資質を高める研修、幅広い視野と豊かな人間性を培う研修など、教職に必要な研修を夏季休業中に企画するものでございます。

なお、企画に当たっては、令和8年度日立の学校教育の重点事項を踏まえるとともに、日立市教育研究会や県主催の研修等の調整を図りながら、研修の内容の精選と効率化を進めているところでございます。

次に、内容でございます。

まず、基本的資質を身に付ける研修につきましては、2つございます。

幼児教育と小学校教育の接続のための研修会、コンプライアンス研修でございます。

専門的資質を高める研修につきましては、教師力パワーアップ講座を4回予定しております。

暴力行為の未然防止やその後の対応について、非認知能力の育

成、漢字の習得が困難な学習障害児への支援、デジタル・シティズンシップの育成の4つを計画しております。

そのほか、学級経営として、WEBQU研修会を計画しております。

次に、幅広い視野と豊かな人間性を培う研修につきましては、一般教養研修会を2回予定しております。

SOSの受け止め方に関する研修、教職員メンタルヘルスケアについての研修会を計画しております。

そのほか、共催研修として、本市の小中学校の教職員や幼稚園の教職員による教育研究会との共催事業や、子ども発達相談センターによる事業も計画しております。

なお、これらの研修につきましては、校務支援システムにおきまして、教育研究所発行の「りさーち」により募集を予定しております。

全部で14項目の研修会を予定しており、本資料に記載している9項目と共催研修5項目を企画していきたいと考えております。

(4) その他

教 育 長 そのほか、案件はありますか。

郷土博物館長 ギャラリー展「戦災と生活―米軍が記録した日立空襲―」の開催について御説明いたします。

今回の展示は、太平洋戦争末期の昭和20年、日立市が空襲を受けた、6月から7月の時期に合わせて開催するもので、戦時下の市民生活や空襲の実態を、写真や実物資料を通して振り返り、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えていただく機会として企画いたしました。

会期は、5月26日、火曜日から始まっており、7月20日、月曜日まで、郷土博物館2階のギャラリーで約40点を展示しております。

観覧は無料でございます。

展示の主な内容としまして、2つございます。

1つ目は、歴史的価値の高い米軍の記録写真です。

米軍戦略爆撃調査団報告書に収録されている日立地区の空襲に関する調査写真の一部を展示いたします。

2つ目は、市民の皆様から寄贈いただいた実物資料です。

出征士に送られた千人針や兵士が戦場で見つけた白たすきなど、戦時下の暮らしや時代背景を身近に感じられる資料を展示いたします。

たくさんの皆様に御来館いただければと思っております。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和8年6月25日（木）午後1時30分から、日立市役所3階
304・305号会議室で開催予定です。

6 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会5月定例会を終了いたします。

以 上